

学校 教育 目標	「自ら学び 人とかがわり 創り出す子」を育てます ○一人一人が、自分で課題を発見し追求し表現する学びを大切に育てます(知・生きてはたらく知) ○進んで人とかがわりの中で、自分や友達を大切に、相手の立場や気持ちを思いやる子を育てます(徳・豊かな心) ○心と体を鍛え、自分や人の命を大切にすべくたくましい子を育てます(体・健やかな体) ○児童会活動や委員会活動を中心に、人のためになる活動を喜んで創り出し、進んで行動できる子を育てます(公・公共心と社会参画) ○友達・自然・地域などと積極的にかがわりを通して、新しいものを創り出そうとする子を育てます(開・未来を拓く志)				
	学校概要	創立 69 周年	学校長 南部 礼子	副校長 藤井 健太	2 学期制
児童生徒数: 1010 人		主な関係校: 舞岡中学校、舞岡小学校、柏尾小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力	舞岡中学校 舞岡小学校 柏尾小学校	主体的な学びを通して、地域を愛し、命、心、夢を大切に成長することも ○アクティブラーニングを積極的に展開し、小中が連携して主体的な学びを推進する。 ・地域行事に積極的に参加・交流することで、そのよさを理解し地域愛を育成する。 ・命の大切さを理解することのできる学びを、人権教育・安全教育から推進する。 ○思いやりの心を育てる学びを、道徳教育と小中合同授業研修と連携して推進する。 ・夢を実現するための学びを、小中一貫すべての教育活動から推進する。

中期 取組 目標	○自ら考え、様々な人とかがわりを通して、創ることに本気になる教育活動に取り組む学校にします。 ・自ら考え、協働して問題解決に取り組む授業づくりを追究し、学力の向上につなげます。 ・一人一人に大切な存在としてかがわり、互いを思い合い認め合う自尊感情を育てます。 ・人権教育・安全教育に取り組み、命の大切さを理解して、健やかな心と体を育てます。 ・児童会活動を推進して、よりよい学校生活のための活動を進んで創る力を育てます。 ・まちの人とのかがわりを意識し、体験を通して、まちを愛する心を育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	全教職員が同じ視点で授業改善に取り組む。①自ら課題や問いを発見し、問題解決的な学習を展開できるような授業づくりに取り組む。②子どもの思いを基に学習計画を立て、めあてをもって学習できるようにする。③毎時間のふり返りを充実させ、学んだことや次に学びたいことなどを明確にする。
担当 教育課程・評価	
豊かな心	①ペア学年交流活動や仲良しロングなどの異学年交流のふりかえりを丁寧に行い、次の活動につなげていく。②道徳教育を充実させ、自己の生き方についての考えを深める指導の充実を図るようにする。
担当 道徳部・人権・福祉・児童指導部	
健やかな体	①主体的に学習に向かい、課題設定や解決の方法を自分たちでつくっていくことで、「わかる・できる」体育学習を目指す。②これまで続けてきた「姿勢体操」に加え、感染症やその予防のために、自分の生活を自分で振り返り、より健康的な生活を選び取っていけるような力を身に着ける。
担当 体育部、保健部	
児童指導	①児童の指導・育成に関わる情報を職員間で共有し、未然防止・再発防止に努め、組織的に対応する。②幼保小中と連携し、よりよい教育環境の整備を図る。③安心・安全な学校生活のためのきまりを児童・保護者とも共有し、家庭と連携しながらルールを理解・順守する気持ちと力を育む。
担当 人権・福祉・児童指導部	
キャリア教育	①代表委員会、委員会活動を中心に、よりよい学校生活をつくるために、進んで課題を解決していこうとする社会性の基礎を育成していく。②異学年の交流活動を通して、高学年のリーダーシップを育てるとともに、互いの立場になって行動しようとする態度を育てる。
担当 特活部	
特別支援教育	①児童一人一人の困り感に寄り添い、保護者や外部機関とも連携しながら、適切な支援を組織的に行っていけるようにする。②特別支援的な見方や具体的な支援の仕方について、研修やコンサルテーション等を行い、職員のスキルアップを図っていくようにする。
担当 特別支援教育コーディネーター	
担当	
担当	
いじめへの対応	①いじめの未然防止・早期発見に努め、いじめ防止対策委員会を中心とした組織で対応する。②育てたい力を明確にした「特別の教科 道徳」の実施や、日常的な児童指導において、社会のルール・マナーを守る気持ちや相手の気持ちを考えながら関わりを創っていく力を育てる。
担当 人権・福祉・児童指導部	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①「自ら学び 人とかがわり 創り出す子」の育成のために、全教職員で協働して実践する。②キャリアアステージに応じた力の向上のために、メンター、ミドル、主幹・育成の各チームが主体的な研究・研修会を行う。③学年経営のチーム力向上のために、中・高学年に一部教科分担制を取り入れる。教材研究等、校務の効率化を図る。
担当 教務部	